

業 務 速 報

NO. 990

2016. 4. 16

J R 東海労働組合

発行 小林 光昭

編集 加藤 光典

「平成28年度要員計画について」業務委員会開催 会社は休日出勤解消しないと明言！ 要員削減の施策も多数！ 熊本県を中心とする震災に会社の最大限の支援を！

本部は4月15日、「平成28年度要員計画について」業務委員会を開催しました。

冒頭、本部は熊本県を震源地とした大地震による多くの犠牲者に対し、同じJR会社として最大限支援をしていくべきであると会社に要請しました。

今年度の要員計画の特徴は、休日出勤や年休失効問題もありますが、要員削減を伴うシステム化・省力化施策による大幅な人員削減がされることです。

主なものとしては、経理センターの廃止（JR東海財務マネジメント新設）・△42、事務業務集約（事務サポート室設置）・△13、電力事務所・信号通信事務所及び関西支社工務部電気課の体制見直し・△14、新大阪駅車内点検外注化に伴う業務執行体制の見直し・△17などで、全体で102名（未定の数字は除く）の要員削減が予定されています。

休日出勤について会社は、昨年同様、新幹線乗務員で2～3泊程度、在来線乗務員で1～2泊程度となることを明らかにしました。また会社は「休日出勤の削減は努力するが、解消はしない」と明言しました。

年休失効問題についても「要員と年休問題とは直接関係ない」と、無責任な態度に終始しました。

本部は会社の考え方に対し、休日出勤も年休失効も根本は要員問題であり、改めて業務内容を精査し、業務量に見合った要員を配置することを強く求めました。

詳細内容は、別紙資料を参照して下さい。

<主な会社説明>

会社からの説明は上記及び別紙（6ページ以降参照）の通りですが、別紙とは別に以下の補足説明を行いました。

1. 平成28年度初要員数

平成28年度初要員数は基準人員が16,400名、社員数（含む専任社員）が21,450名である。社員数に含まれない数として契約社員100名、出向社員100名であり、休職者は社員数に含まれる。

運輸の基準人員4,200名は昨年より50名増であるが、ダイヤ改正によるものである。車両2,000名は昨年より100名減であるが、省力化に伴う要員削減である。その他4,800名は昨年より100名増であるが、非現業部門特に中央新幹線対策によるものである。

また、社員数について、駅2,550名は50名増、運輸4,450名は100名減であるが、育児に関わる社員の駅配属によるものである。車両2,200名は150名減であるが、基準人員の減により出向に出たためである。施設1,450名は50名減となっているが実質20名程度で数字の切り下げによるものである。その他5,150名の150名増は、基準人員の増員によるものである。

2. 平成28年度要員計画

(3) 採用及び退職・専任社員

①採用実績

平成28年度初の採用実績は670名であるが、29年度は690名（医療社員は除く）である。

②平成27年度退職実績

平成27年度の退職実績は定年退職が610名、その他退職が236名であった。その他退職の内訳は、自己都合による退職が約210名、死亡による退職が約10名、それ以外の退職が約16名となっている。

③専任社員

専任社員数は、平成27年度初で1,163名で、約85%の方が専任社員となった。平成28年度初の専任社員は1,219名で、約9割が専任社員を希望している。

(4) 乗務員養成等

駅異動は、125名を予定している。内訳は、在来線75名、新幹線50名である。

<主な議論>

休日出勤を解消せよ！

組合：福利厚生等の申請フローに、申請者が端末を扱うようになっているが、扱い方は説明するのか。

会社：共用端末が今年10月に入る予定だ。しばらく事務の社員が残り、フォロー体制を取る。社員への教育も行う。

組合：休日出勤の実績と今年度の見込みはどうか。

会社：平成27年度の実績は、新幹線で2～3泊、在来線は1～2泊である。今年度の見込みも同様の数字である。

組合：会社は休日出勤の削減に努力すると言っていたが、今年も同じ数字なら努力の度合いが見えない。

会社：努力はしているが、解消は考えていない。波動の山に合わせた要員配置はしない。

組合：乗務員養成数は、新幹線で平成27年度で120名で今年度は20名少ない。努力は見えない。

会社：需給を踏まえながら行っている。長期的に見てできるだけ少なくする努力はする。

組合：それなら、5年先は1泊程度、10年先には0泊に近い数字というように、計画を立てるべきだと考えるがどうか。

会社：年毎に輸送量の増減を予測することは難しい。

組合：愛知万博の時から休日出勤は発生している。もう長い年月が経っているから、輸送量の分析はできるはずだ。

会社：輸送量が伸びているから分析はできない。乗務員養成にも時間がかかる。

組合：環流を減らせば対処できる。

会社：駅社員の中堅層を確保するための施策である。

組合：乗務員希望の社員を戻せば良いではないか。

会社：あくまでも本人の希望とはならない。

組合：本人の希望を尊重せよ。

乗務員養成の対象者で乗務員になれなかった数はどうか。

会社：資料が無いから明らかにできない。

54歳原則出向はやめるべきだ！

組合：54歳原則出向で、54歳になって直ぐに出向した社員はどのくらいか。現実には、58、59歳で出向しているのではないか。

会社：54歳になって出向している社員はいる。

組合：出向者200名の年齢別内訳を明らかにすること。

会社：昨年度は170名の予定だが実績200名であった。数字は変わるので示すことはできない。

組合：実績200名の年齢別内訳をなぜ示さないのか。

会社：示す必要が無いからだ。

組合：示されない根拠を明らかにすること。

会社：示す必要がない体

組合：対立だ。

時季変更された年休は年度を跨って発給できるのか！

組合：年休が失効する組合員が多くいる。年休を完全消化できる要員を配置せよ。

会社：年休問題と要員問題は直接関係ない。

組合：年休を申し込んでも出ないのは、要員が不足しているからだ。
年休の時季変更権について、時季変更された年休は、会社が責任をもって発給すべきだ。

会社：鉄道という運営上、必ずしも年休を発給するものではない。

組合：年度末に時季変更権を行使した場合、年度をまたがって発給することはできるのか。

会社：年度内に年休申請があっても、年度内に発給する必要はなく、翌年度に繰り越しが可能である。

組合：時季変更権は、年度内に処理すべきだ。
年休の失効実績を明らかにせよ。

会社：明らかにしない。

組合：対立。適正要員を配置せよ。

年休完全消化できる要員を配置せよ！

組合：財務部経理センターの業務を平成28年11月からＪＲ東海財務マネジメント株式会社に移管するが、出資はＪＲ東海が100%出資するのか。

会社：当社も出資をするが、どの程度かは分からない。業務はグループ会社の業務を財務部経理センターで行っていた。法律上の問題もあり、専門知識が必要なため業務の効率化のため出資会社設立とした。グループ会社となる。

組合：駅の休日出勤は平均何日か。

会社：全社のデータはないが、新幹線の駅においては、平均４日程度である。
在来線は分からない。

組合：駅の勉強会に休日に出勤している。カウントしているのか。

会社：カウントしている。

組合：１日とカウントするのか。それとも時間でカウントするのか。

会社：時間でカウントしていると考ええる。回数が積み重なり１日となる。

組合：新入社員が駅に配属され、駅間交流を実施するようになった。見習い期間のロスが発生する。そのため駅の要員不足が発生する。社員運用にも要員不足の原因がある。見直すこと。

年休２０日間取得できる要員の配置を！

組合：年休の失効数を明らかにすること。

会社：明らかにしない。年休を申し込んでいない人もいる。

組合：年休が失効している。組合員の所属する名古屋運輸区、神領運輸区、豊橋運輸区、伊那松島運輸区、4箇所の職場で組合員の年休が失効した。失効者は何人いるのか。

会社：明らかにしない。業務に支障が出る場合には希望者が全員支給はされない。

組合：申し込んだ年休は全て出すこと。業務量に見合った要員の配置をすること。

以 上

平成 28 年度要員計画について

平成 28 年 4 月 15 日
東海旅客鉄道株式会社

1. 平成 28 年度初要員数

	駅	運輸	車両	施設	電気	その他	出向	新採者	計
基準人員	2,550	4,200	2,000	1,450	1,450	4,800			16,400
社員数	3,200	4,450	2,200	1,450	1,550	5,150	2,800	650	21,450

※その他は非現業・病院等を示す。

※社員数には専任社員を含む。

2. 平成 28 年度要員計画

(1) システム化・省力化等

現段階における平成 28 年度の施策は別紙の通り。

(2) 出向計画

54 歳に達した日以降の出向 約 200 人

※上記以外の出向については必要に応じ個別に実施する。

(3) 採用及び退職・専任社員

① 採用実績

	27 年度実績	28 年度初実績
大 学 ・ 大 学 院 卒	314	350
高 専 卒	65	76
短大・専門学校・高校卒	217	218
そ の 他	44	26
計	640	670

② 平成 27 年度退職実績

定年退職 610 人
その他退職 236 人

③ 専任社員

平成 27 年度初専任社員数 1,163 人(うち出向 625 人)
平成 28 年度初専任社員数 1,219 人(うち出向 661 人)

(4) 乗務員養成等

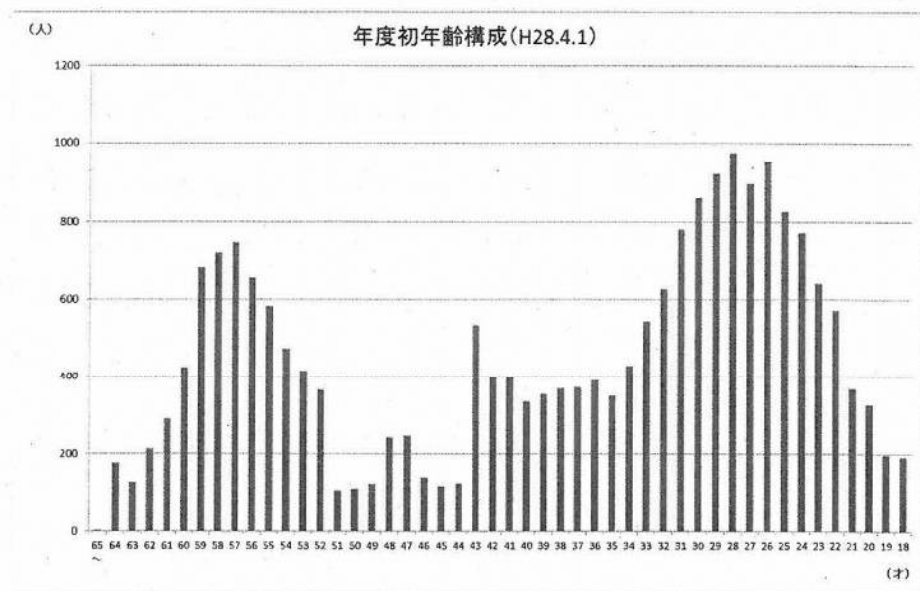
・養成計画数

運転士	在来線	約 160 人	新幹線	約 100 人
車掌	在来線	約 170 人	新幹線	約 130 人

・駅異動

異動計画数 約 125 人
異動時期 平成 28 年 12 月 (予定)

[参考]



平成 28 年度施策一覧
(システム化・省力化等)

施策件名	実施概要	要員計画
経理センターの廃止 (財務部)	・財務部経理センターにおける業務の J R 東海財務マネジメント株式会社への業務移管、財務部経理センターの廃止 (H28. 11)	△ 4 2
事務業務集約 (海鉄・幹鉄・関西)	・事務業務遂行体制の見直しに伴う組織の新設等について (H28 定期異動日)	△ 1 3
春日井駅橋上駅舎化に伴う体制の見直し (海鉄)	・春日井駅の駅舎橋上化に伴う体制の見直し (H28 秋頃)	△ 5
名古屋工場体制の見直し (海鉄)	・名古屋工場総合事務所建設に伴う体制の見直し (H28 定期異動日)	△ 3
美濃太田車両区体制の見直し (海鉄)	・美濃太田車両区における高山地区冬季派遣体制の見直し (H28 定期異動日)	△ 1
全般検査における委託業務の見直し (幹鉄)	・全般検査における一部業務の新規部外委託及び再直轄化による体制見直し (H28. 10)	未定
浜松工場の本場における業務体制の見直し (幹鉄)	・業務見直し等を踏まえた、本場における業務体制の一部見直し (H28 定期異動日)	△ 3
契約・積算の簡素化による業務体制の見直し (幹鉄)	・契約・積算の簡素化を踏まえた、非現業・現業の業務体制一部見直し (H28 定期異動日)	△ 4
電力事務所・信号通信用事務所の体制見直し (幹鉄) 関西支社工務部電気課の体制見直し (関西)	・電力事務所、信号通信用事務所の「電気事務所」への統合等による体制見直し (幹鉄) ・設計・積算業務の簡素化等による関西支社工務部電気課の体制見直し (H28 定期異動日)	△ 1 4
新大阪駅車内点検外注化に伴う業務執行体制の見直し (関西)	・新大阪駅の車内点検業務を外注化することに伴う体制見直し (H28. 8)	△ 1 7
システム化・省力化等 合計		△ 1 0 2

平成 28 年 4 月 15 日

東海旅客鉄道株式会社

事務業務遂行体制の見直しに伴う組織の新設等について

現業機関における J ネットユーザの拡大を契機として、各現業機関に分散している事務業務の集約による処理の迅速化、業務の効率化等を図るため、以下のとおり組織の新設とこれに伴う業務遂行体制の見直しを行う。

1. 概要

(1) 組織の新設

各鉄道事業本部および支社の管理部に「事務サポート室」を設置し、工務系統の現業機関等から切り離した事務業務の処理を行う。

(2) 担当する業務内容

現業機関等で実施している事務業務のうち、福利厚生等の認定、運転無事故表彰の原票管理、特認代用証の勤務実績との照合および退職者関連業務等、現地で対応が不要な業務を担当する。

2. 実施箇所と要員増減

	事務 サポート室	現業機関 (工務系統)	その他	合計
東海鉄道事業本部	+ 3	△ 5	—	△ 2
静岡支社	+ 1	—	—	+ 1
新幹線鉄道事業本部	+ 3	△ 2 0	+ 7 (※ 1)	△ 1 0
関西支社	+ 5	△ 4	△ 3 (※ 2)	△ 2
合計	+ 1 2	△ 2 9	+ 4	△ 1 3

※ 1 : 施設部管理課、※ 2 : 工務部電気課

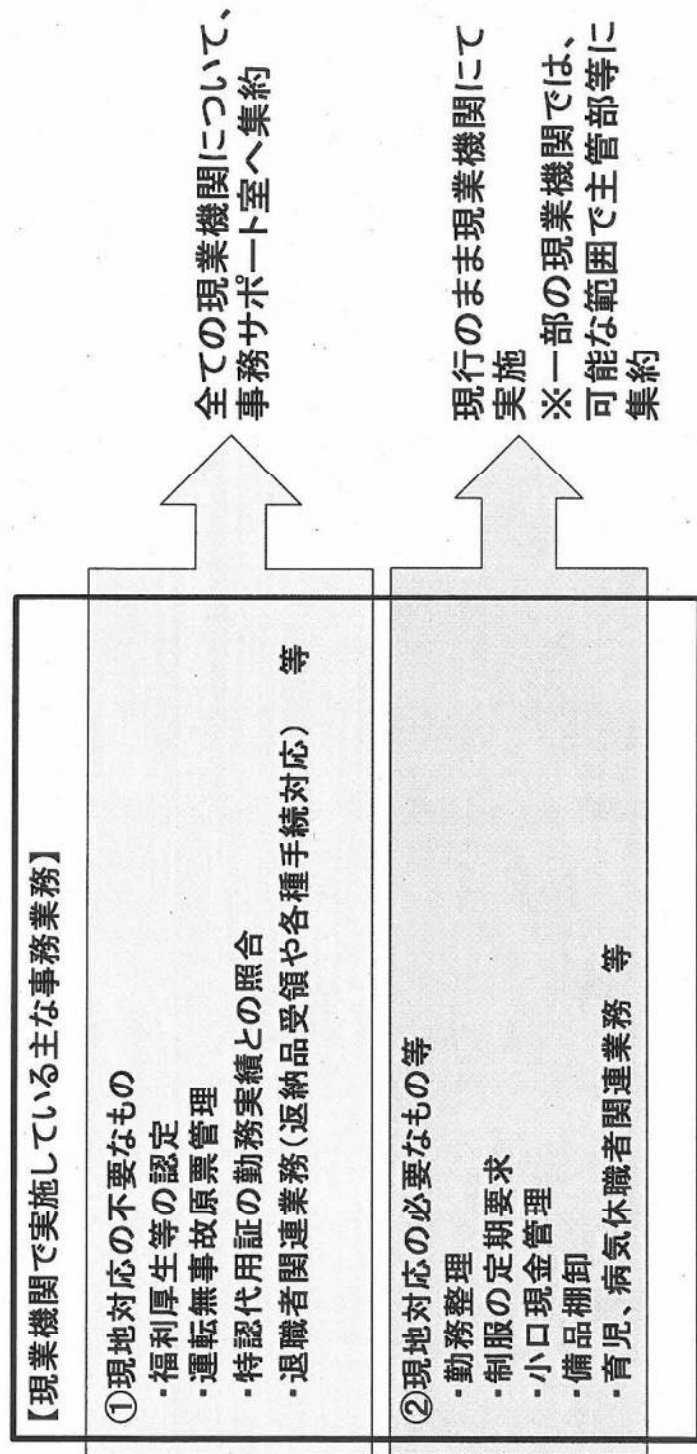
3. 実施時期

平成 28 年定期異動日

4. その他

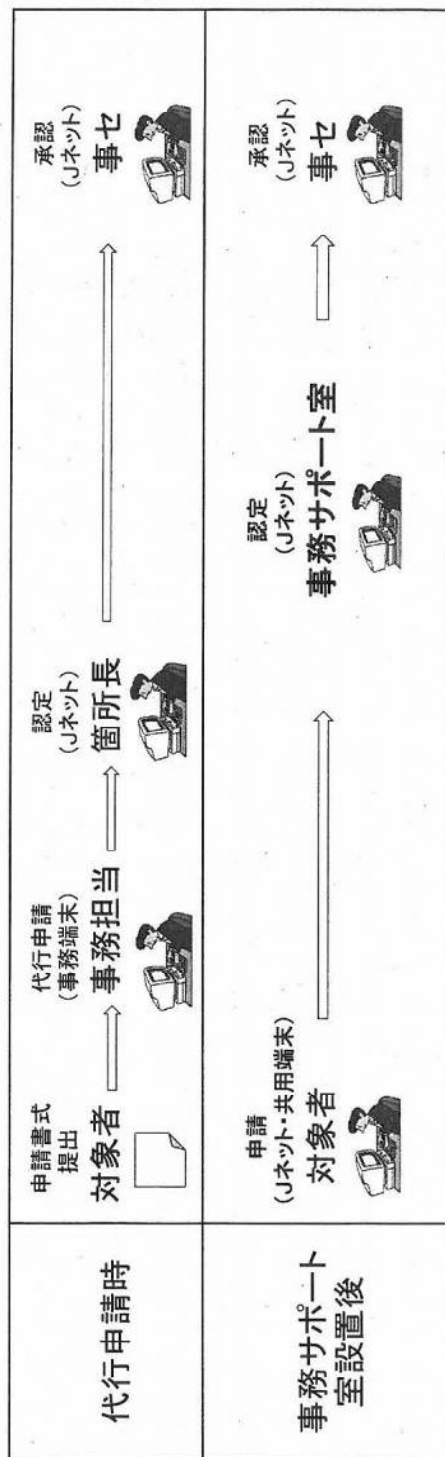
平成 28 年秋、人事総合システムの改修に合わせ、駅・運輸、車両系統の現業機関に共用端末を配備し、以降は、J ネットの非ユーザも福利厚生等の申請を自ら行うこととする。これをふまえ、平成 29 年度を目途に、駅・運輸、車両系統についても、現業機関の事務業務遂行体制の見直しを行う。

現業機関の主な事務業務と集約イメージ



別紙2

福利厚生等の申請フロー (代行申請時と事務サポート室設置後の比較事例)



平成 28 年 4 月 15 日
東海旅客鉄道株式会社

財務部経理センターの廃止について

財務部経理センターの業務を J R 東海財務マネジメント株式会社（本年 5 月設立予定）に移管することとし、同センターを廃止する。

記

1. 業務体制の見直し

財務部経理センターを廃止する。

2. 要員

△42 名

3. 実施期日

平成 28 年 11 月 1 日

以 上

移管する主な業務内容

